

BARRIERWATCHER®

バリア層検査

モデルBarrierWatcher®にて、非破壊方式にてEVOHバリア層の検査が可能です。当モデルは操作がしやすく、INTRAVIS社特別の測定方式により、バリア層内のピンホールや薄肉不良の検査ができます。



バリア層の有無、ピンホールおよび薄肉不良の有無の検査が可能です。

モデルBarrierWatcher®にて、容器、カップ、使い捨てカプセルおよびキャップの品質検査が可能です。被検査対象物の特長特性が分析され、ベース原料とバリア層の判別が可能です。バリア層内のピンホール不良は限度見本との比較によりて画像で示され、不良プリフォームは自動的に分類され、生産ラインから排出されます。

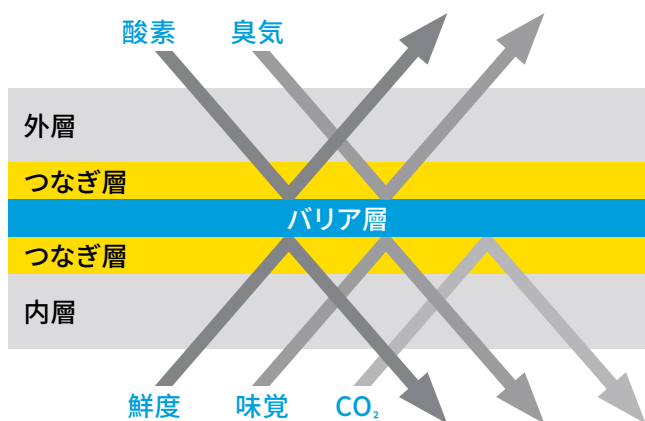
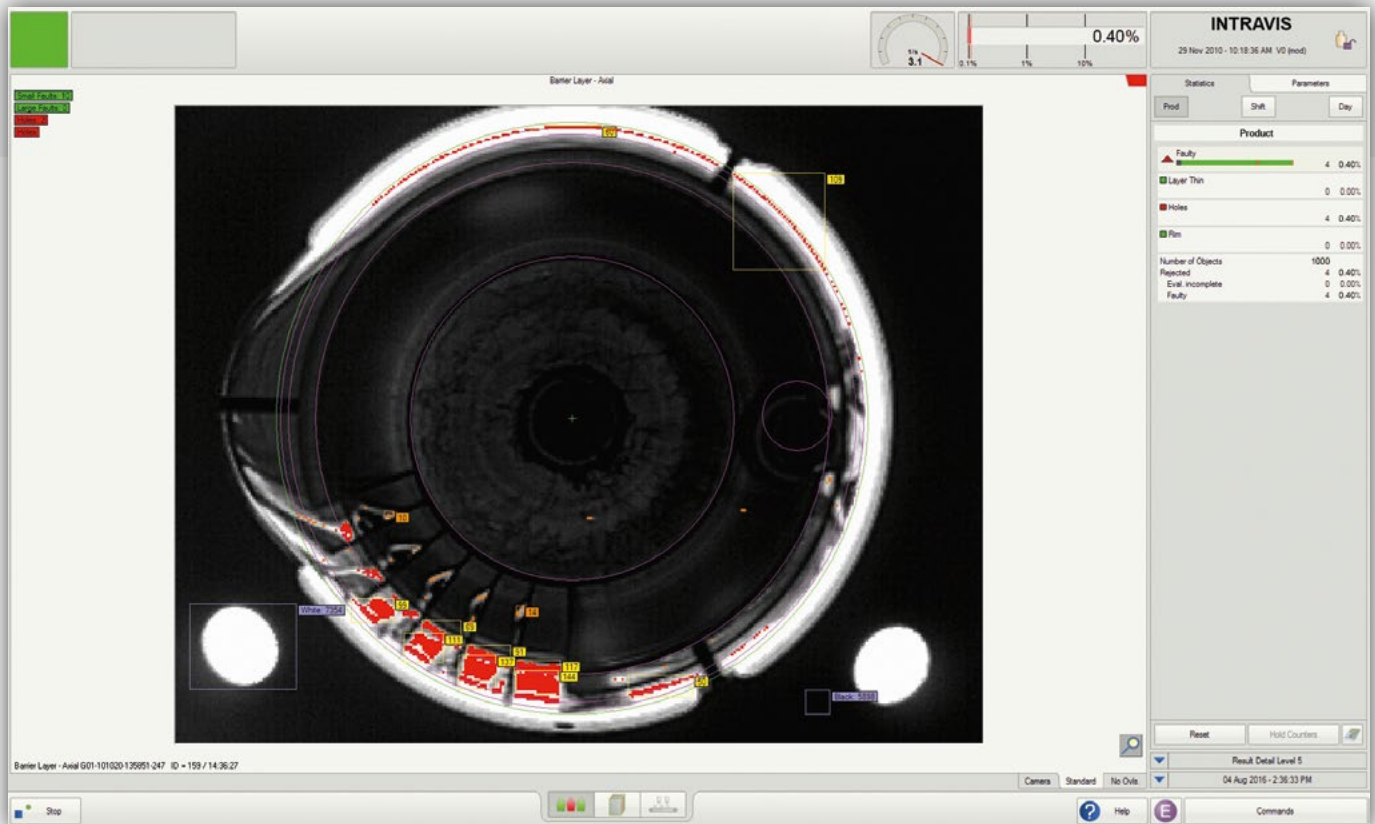
モデルBarrierWatcher®は手動製品供給式のラボ用装置または生産ラインに組み込みのインライン仕様機としてご使用できます。インライン仕様機としてご使用の場合は、モデルBarrierWatcher®は不良項目を識別することにより、これら不良項目と特定の金型キャビティとの関連付けができます。この方法で、オペレーターの方は、生産機械の故障箇所を容易に突き止め、目的に合った整備を実施できます。インライン仕様のモデルBarrierWatcher®は、あらゆる生産スピードに対応できる様に設計されています。



モデルBarrierWatcherは生産ラインに組み込み型です。

BARRIERWATCHER®

バリア層検査



モデルBARRIERWATCHERの検査可能項目

- バリア層内のピンホールおよび薄肉不良
- 平たん部および特殊形状部の検査

検査精度

- 1 x 1 mm (被検査対象物の径50mmの場合)

検査スピード

- 毎秒最大10個 (最大検査速度)
- カメラ下部での300msの遊び時間有り

モデルBarrierWatcher®/電気配線(電気キャビネット)および標準電気仕様

- 定格電圧 交流 230 V, 50/60 Hz*
- 定格電流 1 A

* INTRAVIS社製全モデル検査機がUL/CE規格に適合出来ます。モデルBarrierWatcher®の電圧については、ご希望の電圧仕様でのご提供が可能です。